



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第 32 号

2021 年 11 月 15 日

編集 緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

北部中学校 川合SP活動初日

11月15日、北部中学校に新たに川合SPが加わってくれました。川合SPは先日開催した「SP研修会」にも参加をしてくれました。「SP研修会、とても勉強になりました！これからの活動や将来に活かしていきたいです」と今日も元気に話してくれました。そして、「将来は中学校の教員になることを目指しています。教育実習は小学校だったので、中学校の様子をSP活動で勉強していきたいです」との強い気持ちでウィークリーSPに応募をしてくれました。明るくて笑顔の素敵なSPさんです。



活動初日ということで、朝一番に打ち合わせをしました。青木教頭先生から「実習では授業がメインだけれども、SPさんにはぜひ教職という仕事をもっと多面的に捉えてもらえたらと思う。所謂、裏方の業務もサポートしてもらって、いろいろなことを経験していつてもらいたい」とお話がありました。この日も、授業の他に図書室の本の整理や町給食センターからの給食受入、配膳準備作業の補助などもしてもらったことでした。授業や児童生徒との関わりがやはり一番の仕事にはなりますが、それ以外の仕事も教員はたくさんこなさなければなりません。こうした仕事もあるのだと知っていたら、初任者としての心構えが変わります。そして、いかにそうした「授業以外の仕事」を手際よくこなしていくか、ということも大切なスキルになってきます。SP活動でそうしたことも学んでいけるとよいですね。視点ができれば、出来ることも増えていくと思います。

校内見学では、青木教頭先生から北部中学校の校舎の特徴でもあるオープン・スクールについての説明も聞きました。校内見学での先生のお話を一生懸命聞きながら、終始キラキラした表情で一時間目を終えた川合SP。「これからの活動が楽しみです。こんなに手厚く教えていただけて安心しました」と話していました。専門の社会科についても生徒と関わりながら学び、教職についても広く学んでいつてもらえたらと思います。そして、北部中学校では川合SPを含め6人のSPさんが活動をしてきています。北部中学校でもどんどんSP活動が広がっています。なかなか顔を合わせる機会はないかもしれませんが、もし活動の日程が合ったらSPさん同士ぜひ話してみてください。きっとよい学びができると思います。素敵な時間、素敵な繋がりができると思います。児童生徒との関わりを含め、SP活動そのものをSPさんたちに楽しんでいつてもらえたら嬉しいです。

